



1-7. 友人や恩師との再会に笑みがこぼれる
 8. 「思い出のスライドショー」で懐かしさから歓声上がる 9. 11-17. 「新成人コンテスト」で夢や目標、特技を堂々と発表 10. 会場のあちこちで友人と記念撮影 18-20. 夢や希望を胸に大人への第一歩を踏み出す 21. はたちの自分へ宛てた手紙を受け取り晴れやかな笑顔に



平成27年 菊陽町成人式

祝 はたちの門出



菊 陽町成人式が1月11日、菊陽町図書館ホールで行われました。艶やかな晴れ着やスーツに身を包んだ新成人350人の新たな門出が祝福されました。

式では、後藤町長が「新成人の皆さん、おめでとうございます。これからの輝かしい人生で知性と心身を磨き、努力を惜しまない若人として、全国、世界へ羽ばたいてください」とエールを送りました。来賓祝辞や教育委員長の記念品贈呈、成人の主張、交通安全宣言、小学校区ごとの記念撮影などもありました。

成人式実行委員会企画の2015新成人コンテスト「成人さんいらっしやい」では、8人が夢や目標、特技を披露。新成人たちはそれぞれの思いを真剣に聞いたり、さまざまな特技に歓声を上げたりしていました。

実行委員会が作った「思い出のスライドショー」では、新成人たちの小学生や中学生のころの写真が映し出されると、懐かしさから笑みを浮かべる姿が見られました。

成人の主張



新成人代表 連川 雅子さん

今日という日を迎え、夢や目標を見つづけることができたのは両親や恩師、地域の皆さんの支えがあったからです。責任のある大人として受け継いだ社会をより良いものにしていきたいと思っています。私の夢は幼稚園教諭になって子どもたちを育てること。この夢に向かって日々大学で勉強に励んでいます。これからも自分を信じ、視野を広く持って、壁にぶつかっても最善の道を探していきたいです。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、困っている人がいれば手を差し伸べ、友と夢の実現のために頑張っていきます。

食の大切さを広めたい

大学で管理栄養士の勉強をしています。健康を持続させたり向上させたりするために食は必要なものです。小さいころからおいしく安全なものを持続して食べることの大切さを多くの人に広めていきたいです。2年後は国家試験。これからも夢に向かって頑張ります。



かわもと すみか 河本 純夏さん

両親へ感謝

現在、東京で働いています。菊陽町での思い出は子どものころ友達とにんじん掘りをしたこと。楽しい思い出でいっぱいです。一人前の大人になるので、もっと視野を広げたいと思っています。両親には感謝の気持ちでいっぱいです。育ててくれてありがとう。



ふじもと こうのすけ 藤本 康之助さん

菊陽町は人が温かい

野球を始めた場所で、人とのつながりをつくってくれる町民グラウンドが菊陽町の好きな場所です。菊陽町は人も温かく、声を掛けてくれるのでうれしいですね。ことしはこの機会に熊本城マラソンに挑戦します。これからもアクティブに活動していきたいです。



うえだ きよるへい 上田 恭平さん

熊本で恩返ししたい

今は県外の大学の薬学部に通っています。将来の夢は薬剤師になることです。県外に出させてくれた両親に「いつもありがとう」とお礼を言いたいです。ずっと支えていただいているので、働いて恩返しをしたいと思います。いずれは熊本に戻って、働きたいと思っています。



さいとう なるみ 齊藤 菜瑠美さん

式の企画・運営などを行った成人式実行委員会